

令和8年6月2日

北九州市産業経済局

報道機関各位



北九州市から5年連続選定 初グランプリ

～経済産業省選定「DXセレクション2026」～ 市内企業のプーラビダ株式会社がグランプリを受賞！

経済産業省では、中堅・中小企業等におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の優良事例をモデルケースとして選定し、各地域や業種内での横展開を図ることで、DXの取組を一層活性化させることを目的として、2022年より「DXセレクション」を実施しています。

このたび、令和8年5月に開催された「DXセレクション2026」において、市内企業であるプーラビダ株式会社がグランプリを受賞されましたのでお知らせいたします。

市内企業の受賞は、**制度創設以来5年連続となる快挙**であり、最高賞である「グランプリ」の受賞は**今回が初めて**となります。

なお、プーラビダ株式会社は、北九州市独自のDX表彰制度である「令和7年度北九州DX大賞」を受賞しています。

ぜひ、周知にご協力いただきますようお願い申し上げます。

1 DXセレクション2026について

応募対象：DXに取り組み、成果をあげている日本全国の中堅・中小企業等

募集期間：令和7年12月1日～令和7年12月22日

審査：【1次選考】DX認定・有識者によるスクリーニング審査

【2次選考】有識者委員による選考

【最終選考】プレゼンテーション審査

受賞企業：グランプリ 1社、準グランプリ 2社、優良事例 8社

2 受賞内容（詳細は、別紙1「企業概要・取組概要」のとおり）

企業名	取組概要
【グランプリ】 プーラビダ(株) (訪問看護事業)	高コストな既存システムを廃止しGoogle Workspace 有料版とAIへ移行。全従業員にiPadを貸与し、ポータルサイト「ほぼたくん」上の「デジタル手順書」で現場DXを実現。「手当付きDXサークル」や「感謝アプリ」による組織DXも推進しAIコーチング開発に着手。

写真：経済産業省での表彰式の様子



■北九州市のDX施策

DXの気づきから、専門家によるアドバイスや診断、人材育成、実践時の補助金制度など、切れ目のない伴走支援体制を構築することで、北九州市からDX実践企業を多く生み出し、市内企業の生産性向上および新たな価値創出を実現していきます。

なお、本取組は地域課題の解決や住民の暮らしの利便性と豊かさの向上、地域の産業振興につながる自治体のデジタル技術を活用した取組を表彰する「夏のDigi田甲子園」において、内閣総理大臣賞・優勝を受賞するなど、評価を頂いているところです。これまでDXセレクションを受賞してきた企業の多くも本施策を活用されています。



北九州市ロボット・DX推進センター
(北九州学術研究都市内)



北九州市DX推進プラットフォーム



■参考URL

DXセレクションについて（経済産業省）

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-selection/dx-selection.html

プーラビダ株式会社

<https://www.houmon-puravida.jp/>

【問い合わせ先】

(DXセレクション選定に関すること、中小企業の生産性向上に関すること)

産業経済局中小企業振興課 片山（課長）、竹本（係長）

TEL：093-873-1433

(取組の内容に関すること)

プーラビダ株式会社 代表取締役 浦濱 広太郎

TEL：093-616-0907



医療・福祉業

プーラビダ株式会社

企業 HP



企業概要

設立：2013年 代表者：浦濱 広太郎
 資本金：50万円 従業員：28名



PURA-VIDA HOUMON KANGO
 訪問看護ステーションプーラビダ

主な事業概要

訪問看護事業

企業理念

「プーラビダメンバーを含めた、すべての方に 100%の生き方を」

取組概要

【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネススタイル】

代表者の志「医療・介護従事者が幸せになり、適正な利益を得て、地域に貢献する」の実現を目指す。約2年前の経営危機（離職率83.3%、営業赤字）を機に、DXによる「生産性向上」と「働きがい改革」を両輪で推進するモデルへと変革。確立したノウハウはFC（フランチャイズ）展開し、競合にも公開。

【デジタル技術を活用した具体的内容】

高コストな既存システムを廃止し、Google Workspace 有料版とAIへ移行。全従業員にiPadを貸与し、ポータルサイト「ほぽたくん」上の「デジタル手順書」で現場DXを実現。「手当付きDXサークル」や「感謝アプリ」による組織DXも推進し、AIコーチング開発に着手。

【成果】

- 営業利益が約1,500万円の赤字から約1,400万円の黒字へとV字回復。
- 離職率も83.3%から（業界平均16%）7.7%へと劇的に改善。
- 生産性も1.5倍（訪問4件→6件）に向上し、封筒印刷（4時間→10分）など業務改善も徹底。